

平成28年度 学校経営計画及び学校評価

1 教育目標

生徒と教職員がともに夢を持ち、それを強い意志に高め、実現に向けて挑戦し、弛まぬ努力を続け、未来社会を創造する。
①知識や技能を習得するだけでなく、習得したものの活用能力、主体的に学習に取り組む意欲を養成。
②意志が強く、自律力と規範意識の高い生徒の育成。
③人や物事に対して誠実で、人権を尊重し、地域社会に奉仕貢献できる生徒の育成。

2 中期的目標

～選ばれる学校づくりに向けて～
1 豊かな行事と学校生活の充実
*学校行事を通して思い遣りや自主性を育む。
2 学力水準の向上
*生徒が自主的なバランスの良い学習をしっかりと行えるよう、教員の指導力を高め、立命館大学との提携を強化するなど、授業力を向上させるとともに環境整備も進める。
3 キャリア教育の充実と進学実績の向上
*希望する進路を実現するために、授業を中心とする学習活動で、自身の考えをまとめ表現できる力を養い、論理的に行動できる生徒を育成する。
4 地域連携・交流と生徒募集の推進
*生徒の情操を豊かにする行事に取り組み、生徒を社会に望まれる人材として送り出すことによって、地域の学校としての認知を高める。

3 学校教育の自己診断と学校関係者評価委員会の意見

学校教育自己診断の結果と分析	学校関係者評価委員会からの意見
<p>*中期的目標1.「豊かな行事と学校生活の充実」について ・生徒が安全で安心な環境の中で、自主的に豊かな学校生活を創造する力を身につけることを目指し、基本的な生活習慣の確立と困難に打ち勝つ気力を持つ生徒の育成を重点目標とした。保護者アンケート「生徒同士がお互いを認め合い、豊かな心の育成ができています（肯定80.9%）」・「部活動や生徒活動が活発に行われている（肯定84.3%）」・「学校行事は楽しく充実している（肯定86.3%）」で高い評価を得ており、若葉祭、体育祭などの学校行事や部活動に生徒が自主的に取り組み、学校生活を充実したものとしているとの保護者の理解を得ていることが窺える。教員アンケート「部活動は活発に行われている（肯定93.9%）」・「文化祭など学校行事は活発だ（肯定72.3%）」でも同様に高い評価となった。</p> <p>*中期的目標2.「学力水準の向上」について ・厳選した教育内容提供と基礎・基本の徹底、及び応用力の育成を重点目標として学力の向上に取り組み、保護者アンケートでは昨年より、「わが子は、積極的に学習に取り組んでいる（肯定70.3%）」で6.5ポイント、「わが子は、授業内容に満足している（肯定70.5%）」で4.1ポイント、「教職員は、授業を改善し、わかる授業、力のつく授業の工夫をしている（肯定76.9%）」で1.7ポイント、評価が向上しているが、学校としてはまだ十分に満足できる評価ではなく、今後もより一層の努力を必要とすると考えます。</p> <p>*中期的目標3.「キャリア教育の充実と進学実績の向上」について ・保護者、生徒に誠意を持って進路相談、進路指導に臨み、「進路に関する情報を的確に伝え、きめ細やかな指導がされている（肯定74.9%）」「将来を考える、進路意識を高める指導がされている（肯定76.0%）」と評価を得ているが、教員アンケート「進路指導について、各自の適性に合った指導ができています（肯定84.8%）」から、教員の達成感と保護者の満足度にややひらきがあり、今後、進路指導が具体的な進学実績の向上として成果を挙げることが必要である。</p> <p>*中期的目標4.「地域連携・交流と生徒募集の推進」について ・保護者アンケートで「わが子を入学させてよかったと思う（肯定88.6%）」で高評価を得ているが、教員アンケート「地域との交流について、地域や地域住民との交流ができています（肯定51.5%）」から本校が地域に根差すために日常の生徒の様子や進学実績で本校の教育活動の成果を示し、生徒・保護者の満足を得て評価を高め、地域での本校の存在感を強めることが必要であると考えます。 〔全体〕 学校生活の基本である授業に対し、生徒、保護者から特に高い評価を得ている。保護者からの信頼に応えるよう、授業の充実を原点として学校改革に取り組んでいる。学校と教員は、生徒がより一層充実した学校生活を送り、希望する進路を実現することで保護者の期待に応え、評価を得、更なる発展に努める姿勢を常に維持しなければならない。</p>	<p>①委員会体制 初芝橋本中学校高等学校 教育後援会会長（卒業生保護者・地域有識者）・保護者会会長・高等学校保護者代表・中学校保護者代表 校長・教頭・事務長</p> <p>②委員会実施日 平成29年 3月22日（水）</p> <p>③自己評価の結果に対する評価 1.「豊かな行事と学校生活の充実」について 多彩な学校行事が潤滑油となって、生徒の学校生活が充実し、豊かな情操を熟成されている。生徒間の信頼関係も培われ、安心・安全な学校生活が送れている。外部でも本校生徒が「挨拶のできる生徒」の評価が定着して、好印象を得ている。今後も、主体的に学校行事に取り組み、充実した学校生活を送り、社会への高い順応力を持った生徒の育成に取り組まれることを期待する。 2.「学力水準の向上」について 勉強合宿や進学プロジェクトなどは、生徒は勿論、保護者にとっても確かな学力の定着と、希望する進路を実現するための学力向上をはかると同時に、生徒の学校生活の充実を重視した初橋独自の代表的な取り組みとして高い評価を得て定着している。学力偏重にとらわれることなく、バランスよく人格形成も大切に、生徒・保護者の期待と多様な要望に応えられる教育活動を通し、確かな学力の定着と向上に努められたい。 3.「キャリア教育の充実と進学実績の向上」について 希望する進路の実現について、保護者と学校が一体となって生徒を支援するために、進路説明会や模試分析会など学校が保護者に対し様々な情報を提供してくれる機会も充実してきたと思われる。生徒が自信を持って進める進路を選択できるよう、生徒の適性や希望などの情報を保護者と学校が共有して進路指導に取り組みたい。今後も保護者にも分かり易い、親切的な進路指導を期待する。 4.「地域連携・交流と生徒募集の推進」について 橋本マラソンへの参加や吹奏楽部の定期演奏会、各運動クラブの活躍などを通じて、地域での認知度は高まっている。また、先にもあるが「挨拶のできる学校」との評価も定着している。初芝橋本がさらに地域に根ざし、確実に生徒を確保し、活気に満ちた学校であるために、今後、卒業生やその保護者の協力を得ることが重要であると考えられる。同窓会が機能するよう、学校が窓口となって卒業生に積極的に働きかけてもらいたい。 〔全体〕 保護者アンケート1、「わが子を入学させてよかったと思う。」で88.6%の肯定的評価を得ている。卒業生やその保護者からも「初橋を卒業してよかった。」の声をよく聞く。いつまでも、地域や卒業生とその保護者、そして在校生が誇りを持てる学校として発展することを切に願う。</p>

4 本年度の取り組みと達成状況

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価	次年度に向けての改善策
1 豊かな行事と学校生活の充実	生徒の基本的生活習慣の確立と困難に打ち勝つ気力を持つ生徒の育成	ア、「生徒心得」の読み合わせ。 安全で安心な学校生活を送るために各自の行動や活動を点検する。 イ、生徒主体の「若葉祭」・「体育祭」運営。 自主的に豊かな学校生活を創造する力を養成する。 ウ、英語圏への修学旅行。 国際人としての素養を身につけ自立する力を養成する。 エ、暴力・いじめ防止学習。 暴力やいじめを許さない意識の向上を図る。生徒の学習会講演会と教職員研修の実施。 オ、学校カウンセラーによるカウンセリング実施。 生徒の学校生活における不安を解消し支援する。	ア、保護者アンケート(2)「教職員は、生徒のことをよく考えて指導している。」・(10)「学校生活などの諸規定は、納得できるものになっている。」の項目で肯定的回答 80%以上 イ・ウ、保護者アンケート(16)「学校行事(文化祭・修学旅行など)は楽しく充実している」で肯定的回答 80%以上。 エ・オ、暴力・いじめ防止と根絶。教職員と保護者の連携。生徒の意識向上。(9)「わが子は、悩みや困ったことを教職員に気軽に相談できている。」で肯定的回答 80%以上	ア、(2)で 85.3%、(10)で 81.9%の肯定的な回答を得ている。生徒は校則を理解して健全な学校生活を送っている。また、生徒の安心で安全な学校生活を確保するため、教員は常に生徒状況の把握と理解に努め、一貫した指導ができています。 イ・ウ、若葉祭や体育祭などの学校行事は、生徒会中心に運営され保護者アンケート(16)で 86.3%の肯定的評価を得ているが、教員アンケート(25)の回答が 57.6%であることから、生徒会以外の生徒の自主的な行事運営への参加を促すことが課題である。 エ・オ、生徒指導について教員アンケートから、63.6%の教員が組織的にできていると答えているが、保護者アンケート(9)では 62.8%の肯定的な回答にとどまり、教職員に気軽に相談できる環境作りと、教員間の連携を一層強め生徒の安心に繋げることが求められている。また、教員アンケートで 84.9%の教員が家庭と連携がとれていると回答している。家庭との信頼関係を基礎に、生徒が安心して健全な人格形成が果たせるよう安全な学校生活を維持することに強く取り組む。	担任と生徒の懇談の機会を増やし、生徒状況の把握に努めるとともに、生徒が相談しやすい環境の構築を行う。 また、学年会議や教科会議、職員会議等を充実させ、全教員が一丸となって生徒の指導に取り組めるように努める。
2 学力水準の向上	厳選した教育内容の提供と基礎・基本の徹底、及び応用力の育成と主体的に取り組む意欲を持つ生徒の育成	ア、進学プロジェクト。 到達度に合わせた講座や志望校別講座など多様なニーズとレベルに対応する。 イ、勉強合宿。 学習習慣を身につけ、短期集中で学力の向上を図る。 ウ、進学実績向上に向け、全教員による目標の共有。 生徒のモチベーションを上げるため、各授業における教員からのアプローチ強化。	ア・イ、保護者アンケート(3)「わが子は、積極的に学習に取り組んでいる。」(7)「教育課程は、進路希望の実現に対応するものになっている。」で肯定的回答 80%以上 ウ、保護者アンケート(5)「わが子は、授業内容に満足している。」・(6)「教職員は、授業を改善し、わかる授業、力のつく授業の工夫をしている。」で肯定的回答 80%以上。	ア・イ、教員アンケートで 80%以上の教員が、生徒の実態に合わせた指導と適性に応じた指導ができていないと回答しているが、保護者アンケート(3)で 70.3%、(7)で 77.3%の結果を真摯に受け止め、授業に 100%の満足を得られるよう、常に授業の改善に努めさらに丁寧できめ細やかな学習指導に取り組む。 ウ、(5)で 70.5%・(6)で 76.9%の肯定的評価で、十分に満足を得ている評価ではないと考えられ、授業改善等更なる努力が必要である。教員アンケートで 87.8%の教員が教員間の相互理解と信頼関係に基づいて授業を行っているという回答している。目標を共有して全教員が常に授業改善に取り組み学力水準の向上に繋げる。	普段の授業はもとより、進学プロジェクト・勉強合宿等の学力向上の取り組みに関して、内容・効果を再確認し、より効果の高いものを提供できるように努める。
3 進学実績の向上	キャリア教育の充実と適切な進路指導、誠意ある対応	ア、キャリアプロジェクト。 ・夢の実現に向けて努力する姿勢を育てる。 ・中学校で「初橋ならでは講演会」を実施。高等学校で「新聞を毎日読もう」・「大人プロジェクト」実施。 ・高1 大学見学会実施、高2「夢ナビライブ」参加。 イ、保護者への情報提供と共有。	ア・ウ・エ、保護者アンケート(7)「教育課程は、進路希望の実現に対応するものになっている。」で肯定的回答 80%以上。 イ、保護者アンケート	ア、(7)では 77.3%の肯定的な回答にとどまり、生徒の進路選択に、より一層安心感を与えられる工夫が必要である。様々な問題を提起し、教員とともに考える機会を持ち、生徒が自信を持って進路選択できるよう、教科や授業の枠を越え、多くの情報を提供して適切な進路指導を行う。 イ、教員アンケートで 90.9%の教	生徒に対しては、早い時期からの進路ホームルームを行い、進路選択に関して安心して取り組めるように工夫する。 保護者に対し

		<ul style="list-style-type: none"> ・高1保護者対象進路講演会、高2・高3保護者対象進学説明会、模試分析報告会開催。 <p>ウ、教員研修の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員間に進学実績の目標設定と手立ての共有を図る。 ・高3教員対象模試分析研修実施。 <p>エ、生徒の進路意識、進学意欲を高める取り組み。オープンキャンパス参加奨励。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学見学会、学部別大学説明会の実施。 ・卒業生による受験体験談報告会実施。 	<p>(12)「進路に関する情報を的確に伝え、きめ細やかな指導がされている。」で肯定的回答80%以上。</p>	<p>員が授業公開ができていると回答している。また、87.9%の教員が本校のホームページが有効に活用されていると回答し、保護者への情報提供は良好で、学校と共有して進路指導にも活用されていると考えられる。</p> <p>(12)で肯定的評価が74.9%であることから、保護者の要望を受け止め、求められる情報の提供とさらにきめ細やかな丁寧な進路指導が実現できるよう努める。</p> <p>ウ、教員アンケートで資質向上に関して研修の機会が十分にあると回答した教員は54.5%にとどまり、授業改善や教員の資質向上に向けた研修の実施と教員の積極的参加が望まれる。</p> <p>エ、教員アンケートで90.9%の教員が進路目標達成に向けた年間計画に基づいて授業が行われていると回答している。確実に生徒の学力向上に繋げ、希望進路実現を果たすよう、授業中心に生徒の進路意識向上と進学意欲増進に努めていく。</p>	<p>では、進学説明会や進路講演会・模試分析報告会等の進路行事を通じて、学校での進路指導の取り組みや生徒の状況を丁寧に伝えていく。</p> <p>教員に対しては、校内研修や外部研修の機会を増やし、資質向上に努める。</p>
<p>4 地域連携・交流と生徒募集の推進</p>	<p>地域に根ざした魅力ある学校学園)づくり、及び生徒募集の推進</p>	<p>ア、地域行事への参加、協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高野山参詣登山、九度山マラソン、橋本マラソンへの参加。 ・若葉祭での橋本市福祉・就労支援団体出店、和歌山日赤の献血活動協力。 ・吹奏楽部による近隣小学校学校開放活動での演奏協力。 ・インターアクト部による地域夏祭り、公民館行事(図書読み語り)協力。 <p>イ、地域への奉仕。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部による日々の地域清掃。 ・野球部による毎日の林間田園都市駅周辺清掃。 <p>ウ、地域への協力。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元「FM橋本」の番組担当。 	<p>ア・イ・ウ、保護者アンケート(11)「挨拶や時間厳守など、社会に通用する指導がされている。」で肯定的回答80%以上。</p>	<p>ア・イ・ウ、(11)で92.1%の肯定的な回答を得ており、社会に貢献できる人材として生徒を育成し、社会に送り出すことを目指す本校の取り組みに理解を得ていると考えられる。一方、教員アンケートで地域や地域住民との交流ができていると回答している教員は51.5%となっており、地域から本校の教育活動への理解や本校の認知度が高められる交流は、まだ十分に行われていないと考える。本校が地域の中心となり、地域の評価を得るために、運動関係クラブの活動や生徒会活動、本校の行事など、積極的に外部に発信する必要がある。</p>	<p>現在行っている地域行事への継続的参加に加え、新たな行事への参加を検討していく。また、若葉祭や体育祭等の学校行事を積極的に外部に広報し、地域の方に本校に足を運んでもらえる機会を増やす。</p>